

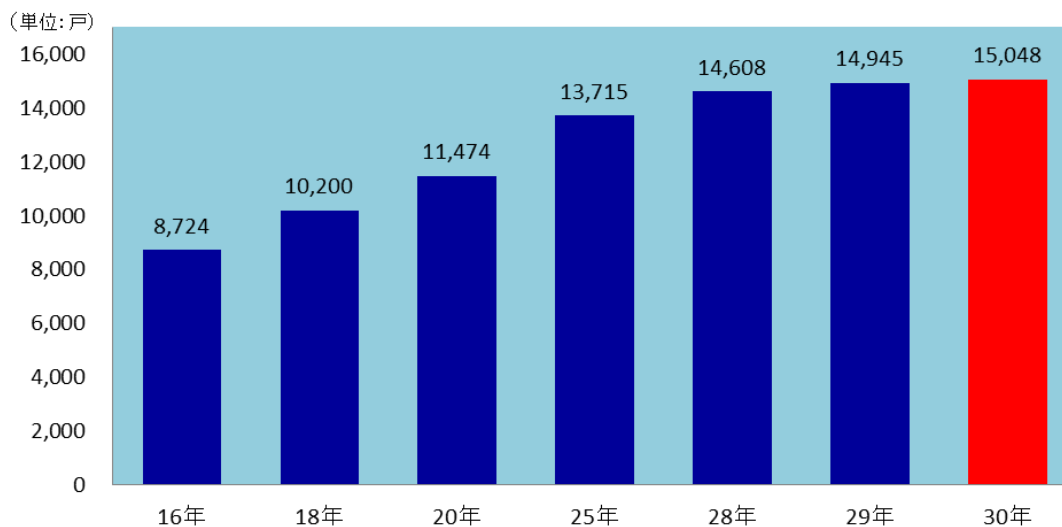
家族経営協定に関する実態調査結果について（九州）

本調査は、管内各県の協力により「家族経営協定を文書により締結している農家の実態」（平成30年3月31日現在）を取りまとめたものである。

1 家族経営協定締結農家数

平成30年3月31日現在の九州管内の家族経営協定締結農家数は15,048戸で、前年に比べて103戸（0.7%）増加した。

九州における家族経営協定締結農家の推移



（注）各年とも3月31日現在。

全国の家族経営協定締結農家数（57,605戸）に占める九州（15,048戸）の割合は約26.1%である。

九州の締結農家数を県別にみると熊本県（3,749戸）、福岡県（2,612戸）、長崎県（2,253戸）の順に締結数が多くなっている。

県別の家族経営協定締結農家数の推移

（単位：戸）

調査年	16	18	20	25	28	29	30	30年 全国順位 及び割合
福岡県	1,951	2,126	2,223	2,388	2,567	2,606	2,612	6
佐賀県	839	1,030	1,172	1,315	1,381	1,388	1,408	16
長崎県	1,065	1,347	1,541	2,028	2,168	2,223	2,253	7
熊本県	1,973	2,387	2,641	3,314	3,703	3,845	3,749	2
大分県	1,072	1,115	1,188	1,214	1,158	1,143	1,186	18
宮崎県	988	1,177	1,406	1,686	1,797	1,882	1,955	9
鹿児島県	837	1,018	1,303	1,770	1,834	1,858	1,885	13
九州	8,724	10,200	11,474	13,715	14,608	14,945	15,048	26.1%
全国	28,734	34,521	40,663	52,527	56,397	57,155	57,605	100%

※各年とも3月31日現在。全国の数値は、本省にて集計。

2 家族経営協定締結農家に占める新規締結の割合

家族経営協定農家のうち、29年度中に新規に締結された農家の占める割合は2.9%で、宮崎県(4.8%)、大分県(3.9%)、熊本県(3.5%)の順となっている。

県別の家族経営協定締結農家に占める新規締結等の割合

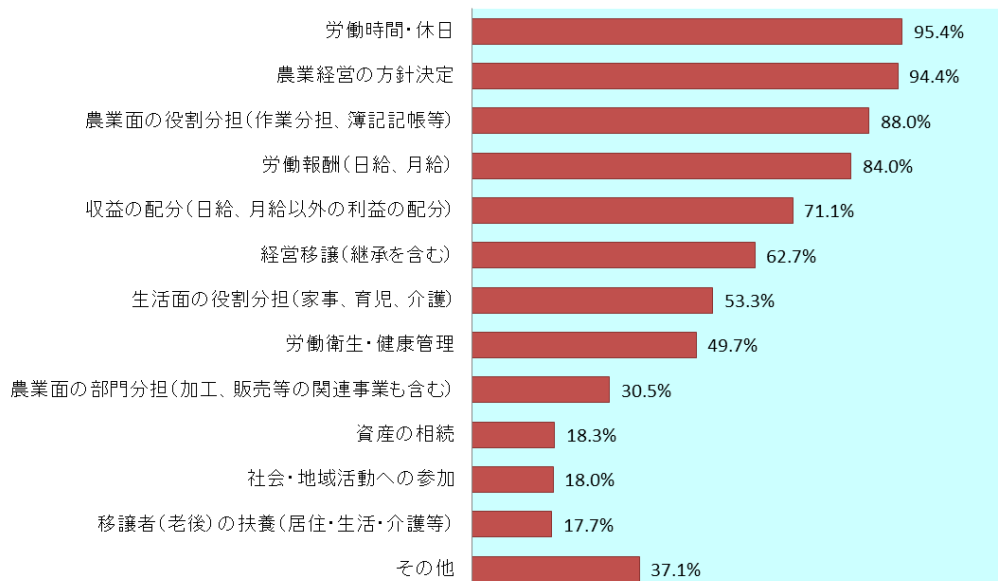
(単位：戸、%)

県名	①家族経営協定締結農家	②うち29年度中に新規に締結された農家(割合②/①)		④うち29年度中に内容の見直し等により再締結された農家(割合④/①)	
		③うち39歳以下(注)の女性が締結者の中に含まれている農家(割合③/②)	⑤うち39歳以下の女性が締結者の中に含まれている農家(割合⑤/④)		
福岡県	2,612	57 (2.2)	20 (35.1)	11 (0.4)	2 (18.2)
佐賀県	1,408	30 (2.1)	6 (20.0)	16 (1.1)	3 (18.8)
長崎県	2,253	34 (1.5)	15 (44.1)	42 (1.9)	16 (38.1)
熊本県	3,749	130 (3.5)	38 (29.2)	61 (1.6)	15 (24.6)
大分県	1,186	46 (3.9)	22 (47.8)	6 (0.5)	3 (50.0)
宮崎県	1,955	94 (4.8)	24 (25.5)	19 (1.0)	7 (36.8)
鹿児島県	1,885	48 (2.5)	11 (22.9)	12 (0.6)	4 (33.3)
九州	15,048	439 (2.9)	136 (31.0)	167 (1.1)	50 (29.9)

3 家族経営協定の取り決め内容

29年度中に新規締結又は見直し等により再締結した家族経営協定の取り決め内容は、「労働時間・休日」(95.4%)、「農業経営の方針決定」(94.4%)、「農業面の役割分担(作業分担、簿記記帳等)」(88.0%)、「労働報酬(日給・月給)」(84.0%)、「労働報酬(日給・月給)」(84.0%)の順となっている。

家族経営協定の取り決め内容



(注) 複数回答である。